2026年11月９日

各　　位

会 社 名　ＡＺ－ＣＯＭ丸和ホールディングス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　和 佐 見　勝
（ コード番号：9090　東証プライム市場 ）
問合せ先　取締役専務執行役員経営戦略グループ長
藤田　勉
（ ＴＥＬ　03-3261-1000 ）

2027年３月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年11月９日開催の取締役会において、2026年５月11日に公表いたしました2027年３月期の通期連結業績予想を修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は適時開示基準には該当しておりませんが、有用な情報と判断して任意開示を行うものです。

記

１．2027年３月期　通期連結業績予想と実績の差異（2026年４月１日～2027年３月31日）

	連結売上高（百万円）	連結営業利益（百万円）	連結経常利益（百万円）	親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	１株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（A）	250,000	13,800	14,000	8,300	61.63
今回修正予想（B）	250,000	11,200	11,000	6,600	49.03
増減額（Ｂ－Ａ）	－	△2,600	△3,000	△1,700	
増減率（％）	－	△18.8%	△21.4%	△20.4%	
（参考）前期実績（2026年３月期）	230,531	11,864	12,530	7,448	55.30

２．修正の理由

中期経営計画2028（2026年３月期～2028年３月期、以下、「中期経営計画」という。）では、高収益企業づくりを目指し、構造改革や収益改善の取り組みを進めることとしております。中期経営計画の２年目である当期（2027年３月期）より構造改革や収益改善の効果を反映できる見通しとしておりましたが、その効果の実現に遅れが生じております。

連結売上高においては、各事業における需要が堅調に推移したことに加え、『AZ-COM　Matsubushi　EAST』が順調に稼働を開始したことなどから、前回発表予想を据え置きといたします。

連結営業利益では、想定を上回る原価上昇に対する一部価格転嫁の遅れ、構造改革の加速による不採算事業の撤退コスト、新規業務安定化のための一時費用の増加に加え、業務拡大に向けた新規物流センターの賃貸借等の先行投資を増加させたこと、などにより売上総利益率が当初想定を下回って推移している状況を反映しておりま

す。また、連結経常利益では、解約損失引当金繰入額、親会社株主に帰属する当期純利益では、負ののれん発生益を、それぞれ反映しております。

以上を踏まえ、2026年５月11日に公表した2027年３月期の通期連結業績予想を修正するものです。

また、中期経営計画最終年度（2028年３月期）の目標値については、現在、見直しを進めている段階にあり、目標値の公表が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績はこれらの数値と異なる結果となる可能性があります。

以　　上